

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名） 契約者数 25名（平成30年3月31日現在）、延利用日数5,090日																																				
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>114,202千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>112,084千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>79,806千円</td> <td>人件費</td> <td>75,275千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自加算</td> <td>30,454千円</td> <td>事務費</td> <td>16,481千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>7,875千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>12,453千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,942千円</td> <td>施設整備等</td> <td>2,118千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>114,202千円</td> <td>合計</td> <td>114,202千円</td> <td>0千円</td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	114,202千円	福祉事業活動	112,084千円	給付費	79,806千円	人件費	75,275千円	川崎市独自加算	30,454千円	事務費	16,481千円	指定管理委託料	0千円	事業費	7,875千円	拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	12,453千円	その他	3,942千円	施設整備等	2,118千円	合計	114,202千円	合計	114,202千円	0千円		
収入		支出		収支差額																																	
福祉事業活動	114,202千円	福祉事業活動	112,084千円																																		
給付費	79,806千円	人件費	75,275千円																																		
川崎市独自加算	30,454千円	事務費	16,481千円																																		
指定管理委託料	0千円	事業費	7,875千円																																		
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	12,453千円																																		
その他	3,942千円	施設整備等	2,118千円																																		
合計	114,202千円	合計	114,202千円	0千円																																	
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで支援する機会のなかった高次脳機能障害を持つ利用者を受け入れ、障害特性や支援方法について、情報共有し、結果として障害者支援の専門性が向上した。 ・職員による検討会を実施し、レクリエーションの内容や提供方法の整理と環境づくりに取組み、円滑かつ充実した内容のレクリエーションを提供している。また、畳から車椅子に利用者を移乗する際の安全で効率的な職員の動きを検討しガイドラインを作成した。 																																				

3. 評価（評価段階：5～1.標準：3.加点割合：5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・入所施設から地域移行する新規利用者については、入所中の施設や関係機関、家族、障害者相談支援センターと綿密な情報収集、情報共有を行い、適切な支援を模索、検討、実施することで、在宅生活の維持につなげている。 ・利用者一人一人の身体状況を観察し、医師・PT・OT等多職種の協力の下、写真やイラストを取り入れた個別の支援マニュアルを作成・支援しており、利用者の安定した日中の生活につながっている。 ・利用者や家族の高齢化、障害の重度化、医療依存度から在宅生活の維持が困難となるケースがあり、インフルエンザの集団感染が発生したことで目標稼働率82%には及ばなかったが、介護面・医療面での家族の負担や将来への不安、緊急時の対応について迅速に相談・情報提供、関係機関と連携して、安心して安全に通所できるよう丁寧な支援に努め、大きな混乱や苦情は生じなかった。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、老朽化施設のため設備等の不具合や故障が生じたため、緊急性と優先順位を考慮して計画的に修繕し、多額な支出とならないように努め、予算内で執行を行った。 ・収入については、インフルエンザの集団感染等により大幅に利用率が下がる時期があったものの、可能な限り利用実績維持と安定収入に努め、収入見込額を若干下回ったが、収支差額は0千円だった。 ・法人の経理規程に則り適正に金銭管理を行った。内部監査を受けたが、不備や指摘事項はなかった。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度の検討会テーマ「利用者に快適な音楽環境を提供する」を継続、発展させて、新たにグループ音楽というプログラムを加え、利用者の反応を探りながら実践した。その過程で利用者の音楽の好みが変わり、他の面でも理解が深まり、利用者の良い反応を引き出すことができたようになった。 ・権利擁護への取組として、利用者の顔と体をカラージュした写真がきっかけとなり、意思表示の難しい利用者の権利擁護や第三者が見聞きしても違和感や疑問を抱かせない対応について、職員全員で話し合い、具体的な権利擁護や接遇について確認し、それに沿った対応に努めた。また、「虐待防止チェックリスト」を全職員が実施し、結果をもとに次年度課題を抽出し、さらなる意識向上を目指している。 ・満足度調査や利用者会・家族会等、意見収集の多様な方法を用意しており、サービス内容・職員への信頼感等、高い評価を得られている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祝祭日を平日同様の体制で運営しており、生活リズムの維持と介護の軽減につながり、利用者・家族から高い評価を得ている。 ・職員がそれぞれの立場に応じて必要な研修を受けられるよう調整されている。また、職員と家族がともに学ぶ「家族研修会」を継続的に開催しており、関係者のスキルアップと最新情報の共有が図られている。 ・ヒヤリハットの書式を簡素化し、その場ですぐに書きやすくなったことで、報告数が昨年度の2倍強となり、大きな事故や苦情につながりそうな場面での気付きを書面に残し、報告・共有することで、事故や苦情を未然に防ぐ意識が高まった。 ・地震・土砂崩れ等様々な災害を想定し、上階の老人いこいの家との協力体制を強化した合同避難訓練を実施した。また、家族との緊急連絡方法としてメールや携帯電話を用いた訓練を行っている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、総合管理委託によって計画的に実施されている。また、施設の老朽化と利用者の重度化が進む中、計画に基づいて着実に修繕を実施している。 ・耐震に不安のある古い下駄箱の撤去や、古いマットを衛生的で扱いやすいものに買い換えるなど安全で快適な環境づくりに配慮している。 					

4. 総合評価

評価点合計	78	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E,標準:A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族を対象とした食習慣調査を行い、食生活の確認・改善をすることで家族の食・栄養・健康に対する意識を向上させ、利用者の健康的な生活の構築につなげるなど、家族を含めた在宅生活の維持に向けた支援を行うことにより、利用者・家族それぞれから生活のよどころとして信頼されていることが見てとれる。 ・地域とのつながりについては、毎月発行する「かじがや通信」の掲示を近隣商店に依頼したり、花壇の整備等に取り組んでいる。また、ボランティアによる演奏会や人形劇には、近隣住民や保育園にも案内をして、利用者を含めた「地域の催し」とすることで地域に根差した施設づくりに取り組んでおり、高く評価できる。 ・市社会福祉協議会福祉人材バンク主催の福祉バスツアーを受け入れ、9名の参加者に事業内容や仕事のやりがい等を説明し、福祉人材確保事業にも貢献している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--